

GT-R Magazine presents

R's Meeting

GT-R Magazine
特別編集
OWNERS FILE X

表紙/目次写真:木村博道 表紙デザイン:瀬戸 学 (EAGLE)

CONTENTS

6 **GT-R** Magazine × **FUJI SPEEDWAY**

R's Meeting 2020 in 富士スピードウェイ

GT-Rオーナーを繋ぐ 唯一無二の集い

10 今年は歴代モデル総勢352台がエントリー!

俺の**R**、わたしの**R**を見てください!

11 **PGC10/KPGC10/KPGC110**

14 **BNR32** 51 **BCNR33**

75 **BNR34** 112 **R35**

130 メーカー&ショップ&オーナーが富士に集結
三位一体でRを盛り上げる!

143 オーナーの趣向と人気の仕様がひと目でわかる
GT-Rオーナー白書2020

STAFF

Publisher

宮本敏也 TOSHIYAI MIYAKI

Editor in Chief

野田航也 KOYA NODA

Editor

松本奈巳 NAMI MATSUMOTO

山本 祐 YU YAMAMOTO

Writer

竹内俊介 SHUNSUKE TAKEUCHI

増田高志 TAKASHI MASUDA

石川大輔 DAISUKE ISHIKAWA

佐藤 圭 KEI SATO

高橋浩司 KOJI TAKAHASHI

鈴木辰哉 TATSUYA SUZUKI

Photographer

森山良雄 YOSHIO MORIYAMA

木村博道 HIROMICHI KIMURA

渡部祥勝 HIROKATSU WATABE

柳田由人 YOSHITO YANAGIDA

高松 弘 HIROSHI TAKAMATSU

小林岳夫 TAKEO KOBAYASHI

川澄智史 SATOSHI KAWASUMI

佐藤 圭 KEI SATO

小林 健 KEN KOBAYASHI

増田貴広 TAKAHIRO MASUDA

Graphic Designer

イーグル EAGLE

衣人 COROTO

株式会社交通タイムス社

〒113-8524 東京都文京区本郷1-24-1

編集部 ☎03・5805・0166

販売部 ☎03・5805・0162

営業企画部 ☎03・5805・0163

©KOTSU TIMES SHA CO.,LTD.

令和3年2月3日発行

定価 本体2,000円+税

※写真・記事・イラストの無断転用などを禁じます。
万一、落丁・乱丁などの不良がございましたら
販売部までお送りください。
良品と取り替えます。



GT-R Magazine × **FUJI SPEEDWAY**

R's Meeting 2020 in 富士スピードウェイ

GT-Rオーナーを繋ぐ 唯一無二の集い

『富士スピードウェイ』を舞台に毎年開催しているGT-R Magazine主催のイベント「R's Meeting」。
今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からコンテンツを「愛車撮影会」のみに限定し、
令和2 (2020) 年10月25日 (日) に無事開催することができた。
当日は真っ青に晴れ渡る空の下、歴代Rのオーナーたちが富士に集結した

文: 野田航也 (本誌) 写真: 木村博道





過去最高の好天に恵まれた「特別な一日」

愛車撮影会のためのイベント 感染防止対策を施して開催

平成18(2006)年から開催している「GT-Rマガジン」主催の「R'sミートイング」。その名の通り、日本が世界に誇る「GT-R」に特化したイベントであり、舞台となる『富士スピードウェイ』がGT-Rで埋め尽くされる年に一度の祭典だ。途中で2年間の休止を挟んだものの、平成22(10年)に復活させて以降、今年で13年連続の開催となった。

現役のGT-Rオーナーは言うまでもなく、所有していない方でもGT-Rのファンであれば誰でも楽しめる集い。それがR'sミートイングの趣旨であり、開催目的でもある。例年はメイン会場となるイベント広場においてメーカー／ショップのブース出展やステージでのトークショーなどの催しに加え、オーナー自慢のRをプロカメラマンが一台ずつ撮影する「愛車撮影会」を開催。また、1.5kmという国内最長のホームストリートを持つ富士のレーシングコースでは、オーナーカーによる「パレードラン」や「フリー走行」も催している。

しかし、コロナ禍での開催ということで従来同様の形式を断念せざるを得ず、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するため、コースを使用したコンテンツを中止とし、会場をイベント広場のみに集約して開催することに。また、今年は「一般来場不可」とさせていた。これは密を防止して感染の拡大を防ぐための策であると同時に、主催者として会場内に入るすべての方々の情報(名前や連絡先等)を把握しておく必要があったため。「当日イベントを見学したい」という問い合わせも

寄せられていたのだが、ご希望に添えなかったことをこの場を借りてお詫びしたい。

これまでに誰も経験したことのない「未知の状態」で開催することになったわけだが、当日の富士はこれまでで一番と言っているほどの好天に恵まれ、朝イチは冷え込んだものの、例年よりも1カ月遅い10月下旬の開催にもかかわらず、心地良いイベント日和に恵まれた。

午前8時。撮影会の会場となったイベント広場には参加者のGT-Rが入場を開始。当日はイベント広場に入るすべての方(出展関係者や運営スタッフも含む)に対して検温と問診票の提出を義務付けたため、撮影会の参加者は1時間おき／3班に分けての受け付けとしたのだが、皆さんのご協力もあってスムーズに進行。入場順に計8箇所設けた撮影スペースへと移動していただき、1台ずつ写真撮影を行った。

会場内には当初予定になかった出展ブース(出展数を12社に制限)も設け、参加者の皆さんには撮影の待ち時間などに各メーカー／ショップのブースを見学していただくことができた。また、R'sミートイングでは初めての試みとして、イベント会場からYouTubeでのライブ配信も実施。こちらは現在も視聴可能なので、まだ見ていないという方はぜひともご覧いただければと思う(この本の130ページにチャンネルのQRコードあり)。

さまざまな点で「いつもとは違う」運営となったが、GT-Rオーナーたちには「いつも以上」の笑顔が溢れていたと思う。次ページ以降に掲載した計352台のR。参加者の晴れ晴れとした表情と自慢の相棒の勇姿をじっくりと、ご覧ください。



撮影会の会場となるイベント広場への入場時には健康状態に関する問診票を提出していただいた。運営スタッフたちはフェイスガードや手袋などの感染防止対策を施した上で対応



会場はお馴染みの富士スピードウェイ。例年は西ゲートからの入場だったが今年は東ゲートに変更。ゲートでは同乗者も含め全員に検温を実施。ご協力ありがとうございました



例年はステージトラックが入る屋根下スペースに『日産自動車』が出展。発売前の「アリア」や松田次生選手のドライブで筑波サーキット1分切りを果たしたR35 NISMOを展示



当初400台の募集だったが急遽ブース出展可となったため360台に変更。当日は当選者の約98%に当たる352台が参加した。イベント広場は例年の倍以上の歴代Rに占拠された格好だ



これはどキレイな富士山の姿を終日拝むことができたのは、恐らくR's Meetingでは初のこと。ちなみに、カメラマンたちは被写体からこれだけ距離を取って長いレンズで撮影！



昨年まで5班体制で行っていた撮影会だが、参加枠を増やしたためカメラマン+ライターの組み合わせを8班に増やして対応。9時～15時で全参加者の撮影を終えることができた



昨年は100近いブースが並んだが、今年は12社に限定してブースを出展いただいた（詳細は130ページ～参照）。コロナ禍にもかかわらずご賛同いただいた各社に御礼申し上げます



参加車両の同乗者に限り入場可としたこともあり、例年に比べて家族連れが多かった印象。親子での記念撮影はもちろん、今年は仲間と一緒に参加する方の姿も増えたように感じた